

在留邦人の皆様

平成24年9月10日

在ホンジュラス日本国大使館領事部

コマヤグエラのセントロ地区における邦人旅行者に対する強盗事件
及び

大使館至近のレストランにおける殺人事件の発生に伴う注意喚起

1. ホンジュラスの治安は全国的に悪化の一途をたどっており、また、首都テグシガルパの治安状況も深刻な状況にあります。今般、セントロ地区において、邦人旅行者に対する強盗致傷事件が、及び大使館至近のレストランにおいて、警備員の殺人事件が発生しました。

2. 事件概要

(1) 9月3日午後2時頃、観光目的で旅行中の20代前半の邦人観光客1名が、セントロ地区のラス・アメリカ市場内において、2人組に背後から襲撃され、拳銃で頭部を殴られた後、カメラ、パソコン等の入ったショルダーバッグを強盗されました。命にかかわる怪我はなかったものの、当人は、ホンジュラス・メディカル・センターで裂傷部の縫合措置を受け、5日、日本に向け出国致しました。同人はいわゆる「バックバッカー」の旅行者で、当地テグシガルパからグアテマラ及びメキシコまで陸路移動し、その後米国経由で日本に帰国する計画を立てておりましたが、中米地域の治安情勢には比較的疎い様子で（治安状況についても、特段事前に調べるといことはしないで来た由）、当地、特にセントロ地区が犯罪発生の多い地区であるとの認識も不足している趣でした。

(2) 9月7日午前12時30分頃、当館から通りを挟んで1ブロック左斜め(約25m)に位置するレストラン「クラロ・デ・ルナ (Claro de Luna)」の警備員1名が、車で乗り付けた強盗の一味に発砲され、搬送先の教育病院で死亡しました。犯人は、警備員の所持していた銃器を奪取することを目的に犯行に及んだとされています。

3. このうち、邦人旅行者が巻き込まれた事件については、当館と致しましても、邦人旅行者に対する更なる安全情報の提供、また、その徹底に努めて参りますが、在留邦人の皆様におかれても、仮に当地の治安状況に疎いと思われる日本人旅行者を街で見かけられる機会等がございましたら、適宜、アドバイス・注意喚起頂ければ幸甚です。

後者の事件については、邦人被害ではありませんが、大使館至近の場所での強盗殺

人事件であること、邦人も利用する可能性のあるレストランでの事件ということもあり、念のため御連絡する次第です。在留邦人の皆様におかれては、首都テグシガルパの厳しい治安状況に鑑み、引き続き日常生活において特段の注意を払われるようお願いいたします。

(了)